

第4回日本中医学会 学術総会抄録集

[総合テーマ]
なにわの中医学

会期：2014年9月13日(土)13時00分～18時00分
9月14日(日)9時20分～16時00分

会場：タワーホール船堀

主催：日本中医学会

(The Japan Traditional Chinese Medicine Association)

会頭挨拶

西本 隆

医) 岐黄会西本クリニック、神戸大学医学部附属病院漢方内科

今、東アジア伝統医学を俯瞰するとき、そこには、さまざまな主張、方法論があり、それらは、過去の歴史や地域などを多元軸として複雑に絡み合っています。その中において我々が目指すべきものは、それらを単純統一しようなどという短絡的志向ではなく、お互いを認め合い、個々の良さを引き出しながら、東アジア伝統医学を前に進めていくことであると、私は信じています。

私は、漢方を志して以来、一貫して関西地域で仕事をしてまいりました。今回、第4回学術総会の会頭をお引き受けするにあたり、関西において、過去から現在に至るまで、「中医学」がどのように脈動を続けてきているのか、を、皆様方に知っていただきたく、総合テーマを「なにわの中医学」といたしました。そして、それぞれの志向する伝統医学のジャンルを問わず、広く、関西で活躍されている先生方に準備委員をお願いし、魅力あるプログラムを作っていました。

まず、シンポジウム「かつて、なにわにこんな中医学があった」では、日本における現代中医学の黎明期に、関西において当時の新進気鋭の医師たちがどのように中医学を取り入れ、消化し、自分たちの新たな方向性を築いていったかを検証し、未来への提言としたいと思います。また、我々に突きつけられた高齢化社会において、「認知症」「アンチエイジング」「体質医学」「リウマチ」という4つの視点から、招待講演、特別講演、シンポジウムの企画を立てました。また、鍼灸治療の科学的解明と実技の融合や穴性問題シンポジウムなど、鍼灸の分野でもup to dateな話題を盛り込んでいます。さらに、一般公開講座では、「中医学で美しく健やかに」という魅力的なテーマで、まさにそれを体現されている3人の講師にお話をいただきます。

9月13日、14日の2日間、この学会が、先生方にとって、大きな実りのあるものになることを願っております。

準備委員会の構成（**理事 *評議員）

会頭	西本 隆**	西本クリニック 神戸大学医学部附属病院漢方内科
準備委員長	萩原 圭祐*	大阪大学医学部漢方医学講座
会頭補佐	西田 慎二*	日本赤十字和歌山医療センター
	土方 康世*	土方医院
	日笠 久美	河崎医院
	西森婦美子*	西森なおのてクリニック
	松川 義純	松川医院
	河田佳代子*	大阪漢方医学振興財団附属診療所
	田中 秀一*	田中医院
	高岡 裕	神戸大学医学部医療情報部
	田川 直洋	県立尼崎病院ER総合診療部

抄録集 目次

■会頭講演	11
座長：酒谷 薫（日本大学 教授、次世代光学技術研究センター センター長）	
「Raise to a higher dimension」	
西本 隆（(医) 岐黄会西本クリニック 理事長、神戸大学医学部臨床教授）	
■招待講演	12
座長：平馬 直樹（平馬医院 院長）	
「中医体質学説とその臨床意義」	
王 琦（北京中医薬大学 教授）	
■招待講演	14
座長：平馬 直樹（平馬医院 院長）	
「認知症における台湾中医診療の過去、現状と展望」	
曹 永昌（台北市中医師公会 理事長）	
■シンポジウム①	15
「認知症ケアの最前線」	
座長：酒谷 薫（日本大学 教授、次世代光学技術研究センター センター長）	
「知覚・感情・言語による包括的ケアコミュニケーション：ユマニチュードの実践」	
本田美和子（国立病院機構東京医療センター総合内科医長）	
「高齢社会における化粧セラピーの期待」	
谷田 正弘（資生堂リサーチセンター、シニアサイエンティスト）	
「鍼灸による認知症への対応～各種連携の中での認知症への取り組み～」	
兵頭 明（後藤学園附属中医学研究所 所長）	
「高齢者の運動療法の認知機能に対する効果：光学的脳機能計測法による認知機能評価」	
酒谷 薫（日本大学 教授、次世代光学技術研究センター センター長）	

■シンポジウム②23

「かつて、なにわにこんな中医学があった～中島随象の遺産～」

座長：中島 正光（広島国際大学保健医療学部 教授）

田中 秀一（医療法人田中医院 院長）

「山本巖と中医学」

日笠 久美（崎崎医院附属淡路東洋医学研究所 所長）

「伊藤良と中医学」

河田佳代子（大阪漢方医学振興財団附属診療所 所長）

「松本克彦と中医学」

松川 義純（松川医院 院長）

「田川和光と中医学」

西本 隆（(医) 岐黄会西本クリニック 理事長、神戸大学医学部臨床教授）

■シンポジウム③29

「アンチエイジングと中医学」

座長：西田 慎二（日本赤十字和歌山医療センター心療内科 部長）

和辻 直（明治国際医療大学 基礎鍼灸学教室 准教授）

「エイジングの鍵を握る腎－その概念の変遷と対処法－」

加島 雅之（熊本赤十字病院総合内科 副部長）

「加齢に伴う疾病への漢方臨床の実践」

西森婦美子（西森なおのてクリニック 院長）

「健やかな長寿の実現に向けた鍼灸治療の取り組み－高齢者疾患に対する鍼灸治療の効果から－」

江川 雅人（明治国際医療大学 保健・老年鍼灸学 教授）

「老化促進マウスを用いた腎気概念の検討」

萩原 圭祐（大阪大学漢方医学寄附講座 准教授）

■シンポジウム④35

「リウマチと中医学」

座長：萩原 圭祐（大阪大学漢方医学寄附講座 准教授）

齊藤 宗則（明治国際医療大学 伝統鍼灸学教室 准教授）

「中医学における関節リウマチの病態生理」

山本亜沙子（森ノ宮医療学園専門学校 鍼灸学科 講師）

「リウマチの漢方臨床 肝鬱気滞への配慮等」

田中耕一郎（東邦大学医療センター大森病院 東洋医学科 講師）

「ガイドラインを踏まえた関節リウマチの融合治療について」

萩原 圭祐（大阪大学漢方医学寄附講座 准教授）

■シンポジウム⑤41

「穴性問題」

座長：篠原 昭二（九州看護福祉大学 鍼灸スポーツ学科 教授）

「中国における穴性をめぐる動向」

井ノ上 匠（東洋学術出版社 社長）

「穴性問題についての一提言」

金子 朝彦（さくら堂治療院 院長）

「穴性に関するアンケート調査」

瀬尾 港二（アキュサリユート高輪 院長）

■一般公開講演47

「中医学で美しく健やかに～自宅でできるセルフケア～」

座長：土方 康世（東洋堂土方医院 院長）

頼 建守（漢方医療頼クリニック 院長）

「中医学で美しく健やかに～中医的生活のススメ～」

河田佳代子（大阪漢方医学振興財団附属診療所 所長）

「おうちで薬膳」

板倉 啓子（国際薬膳食育学会 理事長）

「おうちでツボケア」

中村 真理（まり鍼灸院 院長）

■特別講演53

座長：戴 昭宇（香港浸会大学中医薬学院 教授）

「乾咳の中医治療」

陳 暁鈞（中華中医学会 理事長）

「中医体質養生法による体質と健康関連QOLの改善効果」

朱 燕波（北京中医薬大学）

「台湾中医の認知症治療における独特の成果」

林 舜毅（台北市立聯合医院仁愛院区）

■実技講演①②61

座長：浅川 要（東京中医鍼灸センター 院長）

「鍼灸がちゃんと効いたとき、脳はどうなっているのかNIRSで調べてみました

～不安レベルへの鍼の効果と前頭前野皮質のNIRS活動計測～」

藤井 正道（結鍼灸院 院長、関西中医鍼灸研究会世話人）

「鍼灸三通法の実践」

賀 偉（精誠堂鍼灸治療院 院長）

■国際交流ステーション67

座長：瀬尾 港二（アキュサリユート高輪）

「台湾における認知症の漢方処方研究」

呉 建東（国立陽明大学）

「現代香港における中医臨床の特徴」

戴 昭宇（香港浸会大学中医薬学院）

「脾虚型パーキンソン病の非運動症状に対する中薬治療の RCT 研究」

李 敏（香港浸会大学中医薬学院）

■一般演題①73

座長：高岡 裕（神戸大学医学部医療情報部 准教授）

関口 善太（中醫堂 院長）

「重症の眩暈に対して鍼灸治療が即効性を示した一例」

福岡 豊永（日本医科大学付属病院東洋医学科 天空洞）

「漢方と鍼灸併用治療による関節水腫治療の症例報告」

鄭 冬梅（株式会社 誠心堂薬局 中医学アドバイザー）

「漢方・鍼灸治療による閉経後月経再開2例—中医学治療のアンチエイジング効果」

何 仲涛（徐福中医研究所 徐福漢方薬局 徐福鍼灸院）

■一般演題②79

座長：関口 善太（中醫堂 院長）

北田 志郎（自治医科大学看護学部 准教授）

「ノビレチン高含量陳皮のアルツハイマー病患者の認知機能に対する効果とその機序」

関 隆志（東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学研究部門）

「日中における腹部圧痛所見の相違」

川又 正之（梅の木中医学クリニック）

「左卵管切除および右卵巣を摘出後に自然妊娠した症例」

楊 晶（株式会社 誠心堂薬局 中医学アドバイザー）

「尋常性乾癬の漢方薬」

司馬 張（株式会社 誠心堂薬局 中医学アドバイザー）

「厚朴、枳実、大黃からなる同一生薬構成で生薬量の異なる方剤

厚朴三物湯と小承気湯の方意を抗酸化力から考える」

高橋 薫（タカハシクリニック）

■学生発表87

「呉茱萸湯をいかに飲みやすくするか」

奥村 滋邦（昭和大学漢方生薬研究会）

「中医学に対する医学生のイメージ」

津村 成美（神戸大学東洋医学研究会）

大会プログラム

9月13日(土)

大ホール		小ホール	
12:00 受付開始			
13:00 	会頭講演 座長：酒谷 薫 「Raise to a higher dimension」 西本 隆		
14:00 	招待講演 座長：平馬 直樹 「中医体質学説とその臨床意義」 王 琦	14:10 	一般公開講演 「中医学で美しく健やかに ～自宅でできるセルフケア～」 座長：土方 康世 頼 建守 「中医学で美しく健やかに ～中医的生活のススメ～」 河田佳代子 「おうちで薬膳」 板倉 啓子 「おうちでツボケア」 中村 真理
15:10 	シンポジウム① 「認知症ケアの最前線」 座長：酒谷 薫 「知覚・感情・言語による包括的ケアコミュニケーション：ユマニチュードの実践」 本田美和子 「高齢社会における化粧セラピーの期待」 谷田 正弘 「鍼灸による認知症への対応～各種連携の中での認知症への取り組み～」 兵頭 明 「高齢者の運動療法の認知機能に対する効果：光学的脳機能計測法による認知機能評価」 酒谷 薫	16:20 	実技講演① 座長：浅川 要 「鍼灸がちゃんと効いたとき、脳はどうなっているのかNIRSで調べてみました ～不安レベルへの鍼の効果と前頭前野皮質のNIRS活動計測～」 藤井 正道
18:00	懇親会(2F 瑞雲の間)		

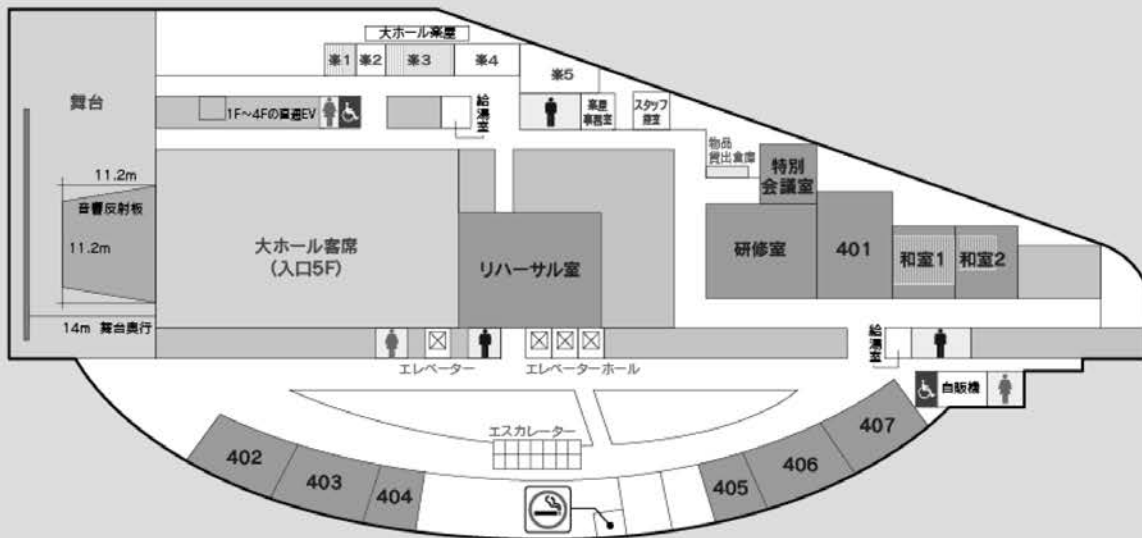
大会プログラム

9月14日(日)

	大ホール		小ホール
9:20 	シンポジウム② 「かつて、なにわにこんな中医学があった ～中島随象の遺産～」 座長：中島 正光・田中 秀一 「山本巖と中医学」 日笠 久美 「伊藤良と中医学」 河田佳代子 「松本克彦と中医学」 松川 義純 「田川和光と中医学」 西本 隆	9:20 	シンポジウム⑤ 「穴性問題」 座長：篠原 昭二 「中国における穴性をめぐる動向」 井ノ上 匠 「穴性問題についての一提言」 金子 朝彦 「穴性に関するアンケート調査」 瀬尾 港二
	11:20 		招待講演 座長：平馬 直樹 「認知症における台湾中医診療の過去、現状と展望」 曹 永昌
12:15 	国際交流ステーション(4階研修室) 座長：瀬尾 港二 「台湾における認知症の漢方処方研究」 呉 建東 「現代香港における中医臨床の特徴」 戴 昭宇 「脾虚型パーキンソン病の非運動症状に対する中薬治療のRCT研究」 李 敏	11:30 	一般演題① 座長：高岡 裕・関口 善太 「重症の眩暈に対して鍼灸治療が即効性を示した一例」 福岡 豊永 「漢方と鍼灸併用治療による関節水腫治療の症例報告」 鄭 冬梅 「漢方・鍼灸治療による閉経後月経再開2例—中医学治療のアンチエイジング効果」 何 仲涛
13:00 	シンポジウム③ 「アンチエイジングと中医学」 座長：西田 慎二・和辻 直 「エイジングの鍵を握る腎—その概念の変遷と対処法—」 加島 雅之 「加齢に伴う疾病への漢方臨床の実践」 西森婦美子 「健やかな長寿の実現に向けた鍼灸治療の取り組み—高齢者疾患に対する鍼灸治療の効果から—」 江川 雅人 「老化促進マウスを用いた腎気概念の検討」 萩原 圭祐	13:00 	一般演題② 座長：関口 善太・北田 志郎 「ノビレチン高含量陳皮のアルツハイマー病患者の認知機能に対する効果とその機序」 関 隆志 「日中における腹部圧痛所見の相違」 川又 正之 「左卵管切除および右卵巣を摘出後に自然妊娠した症例」 楊 晶 「尋常性乾癬の漢方薬」 司馬 張 「厚朴、枳実、大黃からなる同一生薬構成で生薬量の異なる方剤厚朴三物湯と小承気湯の方意を抗酸化力から考える」 高橋 薫 (学生発表) 「呉茱萸湯をいかに飲みやすくするか」 奥村 滋邦 「中医学に対する医学生のイメージ」 津村 成美
14:40 	シンポジウム④ 「リウマチと中医学」 座長：萩原 圭祐・斉藤 宗則 「中医学における関節リウマチの病態生理」 山本亜沙子 「リウマチの漢方臨床 肝鬱気滞への配慮等」 田中耕一郎 「ガイドラインを踏まえた関節リウマチの融合治療について」 萩原 圭祐	14:40 	実技講演② 座長：浅川 要 「鍼灸三通法の実践」 賀 偉

タワーホール船堀 案内図

4Fのご案内



5Fのご案内

